

浮魚情報（第5報）

令和4年8月9日

宮城県水産技術総合センター環境資源チーム

Tel : 0225-24-0139 Fax : 0225-97-3444

カタクチシラス分布調査結果

○調査方法

- ・8月8日に県漁業調査指導船「開洋」にて、県仙南海域の共同漁業権内においてシラス分布調査を行いました。
- ・調査方法は、魚群探知機によりシラスやイワシ類と思われる反応を調べ、魚種確認のため、中層トロール網（10分曳き）による捕獲調査と漁場環境調査を行いました。

○魚群探知機航走調査結果

- ・St1周辺の5～7mの水深帯でカエリと思われる濃い反応が見られ、名取沖の表面付近では、断続的に小型のシラスと思われるポツポツとした反応が見られました（図1、図2）。

○中層トロール網による魚種の確認結果

- ・図1に示す山元沖T1及びT2、名取沖T3において中層トロール網（10分曳き）を行った結果、T1では18尾、T2では104尾、T3では132尾採取されました。漁獲物の体長はT1で24～43mm（平均32mm）、T2で7～34mm（平均14mm）、T3で8～33mm（平均14mm）でした（図3）。また、T1ではほとんどが銀色に色付き始めたカエリ（幼魚）でした。T2とT3では10mm前後の小型のシラス（仔魚）が多くを占めました（図3、図4）、2～4週間後には漁獲サイズの25mm程度に成長すると思われます。

○漁場環境等

- ・調査海域の表層水温は、24.9～25.4℃、底層付近は、18.2～20.3℃となっていました（表1）。
- ・調査漁場の底層付近はSt.1とSt.2で水産用水基準（6mg/L）を下回り、貧酸素状態となっていました。

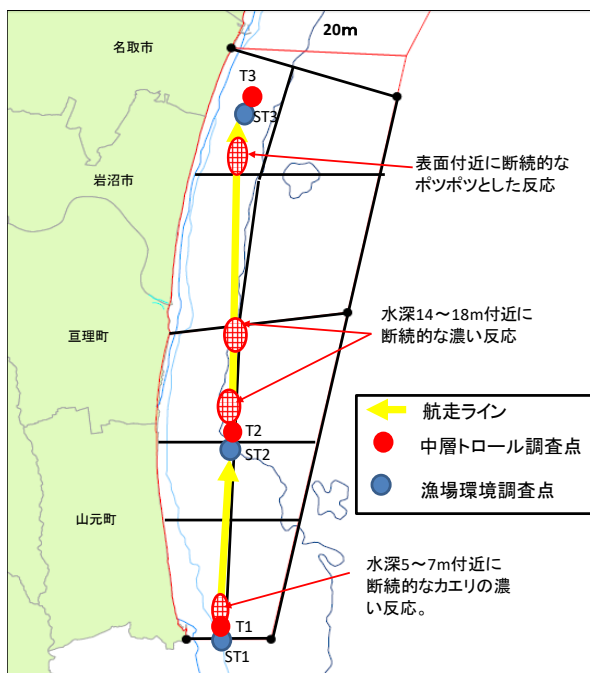


表1 調査漁場の環境調査結果

St	時間	測定層 水深(m)	水温 (°C)	塩分	pH	DO
St1	9:23	0	24.9	30.0	8.2	7.4
		5	21.2	32.8	8.1	6.2
		B-1	20.3	33.0	8.0	5.5
St2	10:08	0	25.3	26.3	8.4	8.7
		5	23.4	31.7	8.2	7.8
		10	21.0	33.1	8.2	7.7
		15	19.4	33.2	8.1	7.5
		B-1	18.2	33.4	7.9	3.8
St3	11:11	0	25.4	29.4	8.4	9.8
		5	22.3	32.4	8.2	7.6
		10	20.2	33.2	8.1	7.1
		B-1	19.3	33.2	8.1	6.3

図1 航走ラインと中層トロール調査点

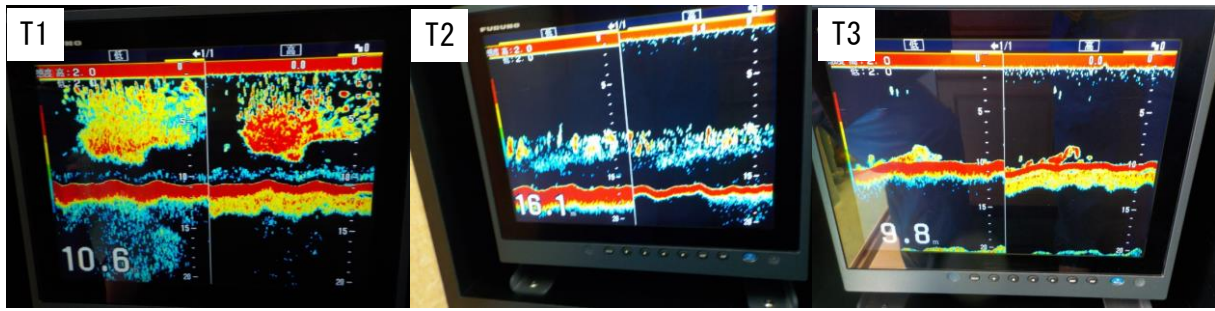


図2 各調査点でのシラスと思われる魚探反応

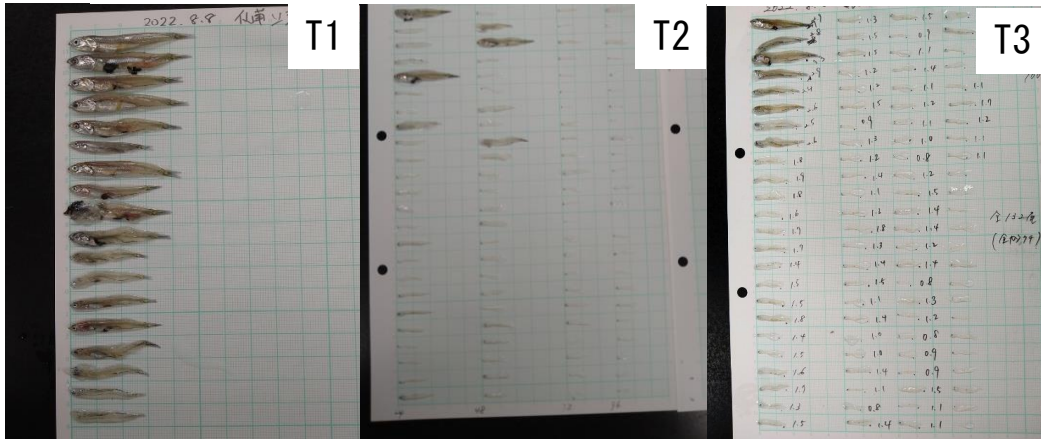


図3 中層トロールで採捕されたカタクチイワシ仔魚及び幼魚

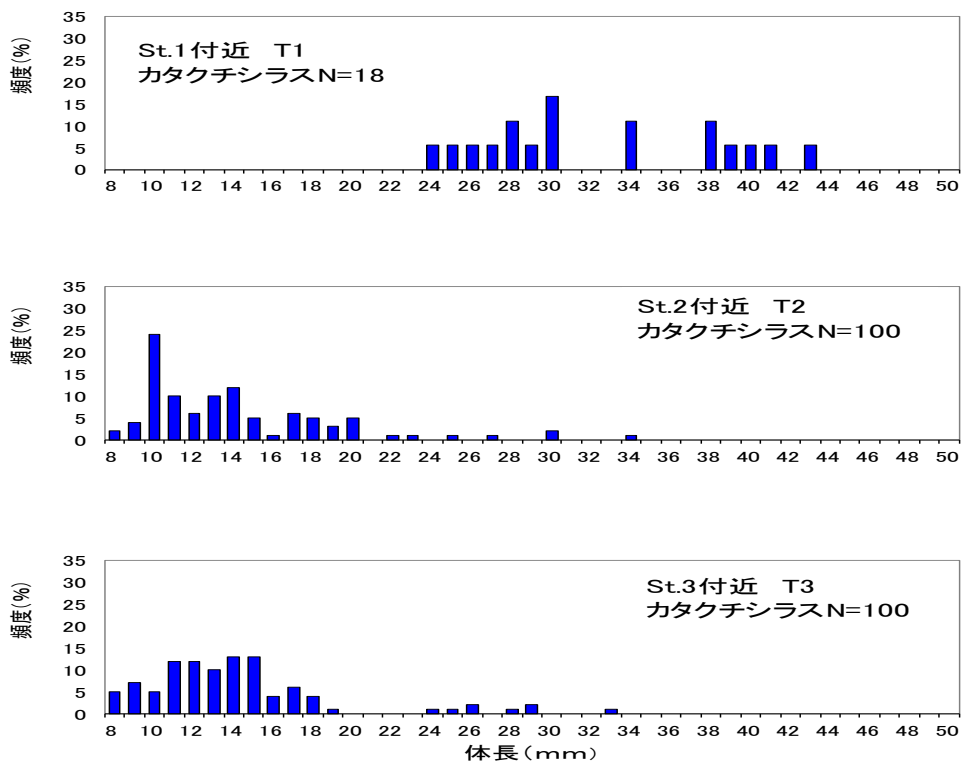


図4 中層トロールで採捕されたカタクチイワシ仔魚及び幼魚の体長組成